

# Copilotを 理解する



今後の Windows 11 の更新サイクルに沿った計画を練っているエンタープライズは、従業員のニーズと Microsoft の Copilot を理解した上で正しい AI PC を選択しようと考えているでしょう。AI PC とは、ニューラルプロセッシングユニット (NPU) を搭載した PC のことであり、実行の効率化、高速化を図るために、新しい AI ワークロードを専用のローカルプロセッサで処理します。[IDC の調査<sup>2</sup>](#)によると、調査回答者の 95% がクラウドベースの AI を試していると回答しており、従業員の 43% がすでに日常のワークフローで使用しています。IDC は、今後数年間で AI PC 導入が急増し、2028 年までに PC の 93% が AI PC の区分に入ると予測しています。

AMD は 2023 年に初の x86 NPU 搭載 AI PC をリリースし、PC 業界をリードしてきましたが、2025 年にはそれを足がかりに新しいシリーズの高性能 AMD Ryzen™ AI プロセッサを発表しています。AMD の Ryzen AI 300 シリーズ プロセッサと Ryzen AI Max プロセッサは、幅広い価格帯の各種モバイル システム、ビジネス PC、モバイル ワークステーションとしてご利用いただけます。また、このシリーズは漏れなく、最大 50 TOPS の高性能 NPU を搭載しています。そのため、後述する Microsoft Copilot+ PC として使用できるシステムとして認定されています。

「Copilot」は、Microsoft がさまざまな製品、サービス、プログラムに適用している AI 関連のブランドです。下記の通り、「Copilot」という言葉は状況に応じて意味が異なり、無償のクラウドベース サービスを指すこともあれば、サブスクリプション サービスや、Microsoft 365 (旧 Microsoft Office) に組み込まれたチャットボット機能、あるいは物理的な AI PC を指すこともあります。



**基本的な AI 支援機能:** Copilot は、Microsoft アカウントを所有しているユーザーであれば誰でも利用できる無償の AI サービスです。文、画像を生成できる他、テキストプロンプトに基づいてさまざまな作業を実行できます。クラウド上で動作し、インターネット接続が必要です。

**システム統合:** Copilot にアクセスする手段としては、一部の Windows PC に付いている新しい Copilot キー、スタートメニュー、Windows タスクバーのボタンがあります。

**対応製品:** すべての AMD 製品。



**サブスクリプション サービス:** [Copilot Pro](#) は、有償のサブスクリプション サービスであり、現時点の価格は 1 ユーザーあたり月額 20 ドルとなっています。Microsoft Copilot のすべてが含まれ、完全なクラウド版であり、AI PC は不要です。

**機能拡張:** 最新 AI モデル (GPT-4 や GPT-4 Turbo など) への優先的利用、ピーク時の AI モデルへの優先的利用、AI による画像作成が 1 日あたり 100 ブーストまで (無償版では 15 ブーストまで)、一部の Microsoft 365 アプリへの Copilot の組み込みといった特典を利用できます。専門的なユース ケースや負荷の高いユース ケースなど、高い AI 能力を必要とするユーザー向けの設計となっています。

**対応製品:** Microsoft 365 アプリ実行時のすべての AMD 製品。



**Microsoft 365 (旧 Office) への組み込み:** Microsoft 365 は、以前「Office」というグループに属していたアプリケーション群をまとめた新しいブランド名です。Microsoft 365 Copilot は、Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Outlook、Teams で Copilot を利用できるようにします。Microsoft Copilot のすべてが含まれ、完全なクラウド版であり、AI PC は不要です。

**機能拡張:** Business Chat は、質問に的確に答え、重要な情報を通知するために、複数のソースのデータを合成します。Microsoft Graph グラウンディングは、LLM 出力の精度と品質を高めます。デフォルトで利用できるとともに、Microsoft Copilot Studio の使用時にはカスタマイズ機能と拡張オプションを利用することもできます。

**対応製品:** すべての AMD 製品。Microsoft 365 Copilot の購入には、Microsoft 365 Business Standard、Microsoft 365 Business Basic、Microsoft 365 Business Premium のいずれかのライセンスが必要です。



**必要な AI ハードウェア:** Copilot+ PC には 40 TOPS 以上の NPU が搭載されています。ほかのクラウドベースの Copilot サービスとは異なり、Copilot+ PC はデバイス上で直接、一部の AI 機能を実行するため、処理のスピードと効率が向上します。Copilot+ PC には、Copilot のすべての機能と、独自のローカル AI 機能が搭載されています。

**新しい AI 機能:** Copilot+ PC は、Live Captions、Cocreator、Restyle Image および Creator、Windows Studio Effect、Recall などの Windows 独自の AI 機能に対応しています。

**対応製品:** [AMD Ryzen AI 300 シリーズ](#)および [AMD Ryzen AI Max PRO](#) プロセッサ。この 2 つの CPU ファミリの処理速度は、Microsoft Copilot+ PC に必要な 55 TOPS<sup>1</sup> (最大) です。詳細については、SVP Jack Huynh が投稿した[こちらのブログ](#)をご覧ください。NPU のパフォーマンスが 40 TOPS に達していない AI PC でも、CPU、GPU、NPU パフォーマンスの総合的な組み合わせにより、新しい AI ワークロードにも十分対応できますが、Copilot+ PC としては扱われません。

[詳細を読む](#) >

## 主な違い

**利用条件:** Copilot は無償のクラウドベースのサービスですが、Copilot Pro や Microsoft 365 Copilot の場合にはサブスクリプションが必要になります。Microsoft Copilot+ PC として認定されるには、具体的なハードウェア条件 (40 TOPS 以上の NPU、16 GB 以上の RAM、265 GB のストレージ) を満たし、ローカル処理能力を備えていることが求められます。

**機能:** Copilot は基本的な AI 支援機能を備えています。Copilot Pro と Microsoft 365 Copilot はその拡張版で、処理速度が速く、機能も高度であり、Microsoft 365 アプリに組み込まれています。Copilot+ PC は、Copilot が備えている機能に加えて、デバイス上でローカルで実行する Windows AI 機能も備えています。

1 - AMD Ryzen プロセッサの TOPS (Trillions of Operations per Second) は、最適なシナリオで 1 秒間に処理できる最大演算回数を 1 兆回単位で表したものであり、標準値ではない場合があります。TOPS は、具体的なシステム構成、AI モデル、ソフトウェアバージョンなど、さまざまな要因によって変動する可能性があります。GD-243。

2 - IDC ホワイトペーパー (AMD 後援)、『Accelerate Your Organization's AI Strategy by Deploying High-Performance AI PCs』、文書番号 US53192925-WP、2025 年 3 月。

ここに記載されている情報は、情報提供のみを目的としており、事前通知なしで変更される場合があります。この資料の作成時には確認を重ねているものの、技術的な誤りや欠落、誤記などが含まれる可能性があり、AMD は当該情報の更新または修正の義務を負いません。Advanced Micro Devices, Inc. は、この資料の内容の正確性または完全性に関していかなる表明または保証も行わず、ここに記載される AMD ハードウェア、ソフトウェア、その他の製品の操作または使用に関して、非侵害、商品性、特定の目的への適合性の黙示的な保証を含め、いかなる種類の責任も一切負わないものとします。この資料は、黙示的あるいは禁反言で生じるものを含め、いかなる知的財産権へのライセンス付与を行うものではありません。AMD 製品の購入または使用に適用される条件および制限は、当事者間で締結された契約または AMD 標準売買条件に規定されているとおりです。GD-18u。

© 2025 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD、AMD Arrow ロゴ、Ryzen、Ryzen AI、およびそれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。この資料に使用されているその他の製品名は、識別目的のみに使用されており、所有するそれぞれの企業の商標である可能性があります。